

青年部は6・7月闘争の先頭に

6・7 拡大青年部長会議で 意志統一をかちとる

六月七日、十三時すぎより、千葉市民会館において、第二回拡大青年部長会議がもたれた。各支部より二七名の青年部役員が結集して意思統一を行なった。

会議は、議長に椿常任(千葉転)を選出して進められた。

青年部長あいさつ

最初に、杉本青年部長があいさつに立ち、「本日(六月七日)の会議は、①八九春闘ストを総括し、②今月で結審する清算事業団地労委闘争に勝利し、原職奪還にむけ全青年部員がストに突入できる団結と闘争力をつくっていくこと、③夏季物販闘争を貫徹すること、④自民党政権打倒にむけ、千葉・船橋市長選(六月十八日)に必勝しよう」とのべた。

続いて、本部を代表して布施書記長が青年部長あいさつにふまえたうえで「中国の内戦化やイランのホメイニの死をめぐるアラブの動きをはじめ、情勢は流動化している。

国内でも自民党政治に対する怒りは強まるばかりだ。三里塚も決戦を迎えている。『連合』問題もこれからだ。また、夏季輸送―来年三月京葉線全面開業をめぐる業務移管の動向等々。今日の会議で方針を決定し、動労千葉の最先頭で闘うことをうちかためてほしい」と提起した。

世界史的激動期の到来

「清算事業団闘争勝利ノ強制配転者の原職奪還ノ」をはじめとするスローガン案が提起され、事に突入した。総括は、春闘ストをはじめ、この間の青年部の取り組みについて全面的に展開された。

世界情勢では、一九三〇年代型情勢という認識と、中国における一国社会主義路線の矛盾の爆発を人民虐殺による「解決」、一延命せんとする中国共産党官僚政権を弾劾した。国内情勢・国鉄情勢―方針を提起し討論

にうつった。

青年部先頭に スト決起を!

最初に、この間、支部新青年部長に選出された先頭で闘っている、都崎館山青年部長、高橋千葉転青年部長、篠田佐倉青年部長より各支青委員会と現状の報告がなされた。続いて、物販全国オールの感想と報告が行なわ



れた(東京東部、関西地区、水戸など)。さらに職場における労働条件(特に年休や変番など)の問題点が出され、カーテン・アゴヒモをはじめ、職場抵抗闘争を強化することを意志統一。

また、青年部員の要求として、社宅への入居問題があり、この間、「生活環境改善にむけた実態

調査」を青年部は実施、この日、集約した。特に、方針のなかで、八・六ヒロシマへの青年部派遣とカンパ闘争を取り組むことが決定された。

最後に、清算事業団闘争を軸とする具体的方針が決定され、意気高く団結ガンバローを三唱し、会議を終了した。

JR夏見台宿舎、多数参加で大成功

千葉 (小川美久氏) ・ 船橋市長選勝利を (松本正二氏)

六月三日、JR夏見台居住者によって船橋市長選を闘っている松本正二氏と動労千葉顧問であり船橋市議の中江昌夫氏を囲む懇談会が開催され、成功裡にかちとられた。

宿舎居住の動労千葉組員・家族をはじめ、他労組の仲間や家族、二十四名が出席、なごやかに時には革新政党への「厳しい」要望が出されるなど、大変意義ある懇談会となった。

最後に、政治の流れを変えるために、職場での奮闘と結合し、居住区・地域でも大いに活躍していくことを誓って終了した。

千葉・船橋両市長選の勝利を!!

松本(船橋市長候補)、中江(船橋市議)両氏を囲み懇談会